

令和7年9月11日

保護者各位

鳥栖市立基里中学校
校長 日吉 敬子

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

国語と数学が令和7年4月17日、理科が令和7年4月14日から17日のうち指定された日に下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、①と②が一体的に問われています。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」については、全て全国の平均正答率を上回っており、定着がうかがえます。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くことができるかを見る」問題については、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「知識・技能」の観点では全国の平均正答率と同程度でした。しかし、「思考・判断・表現」の観点において下回っており、課題が見られました。
- ・「関数」の区分では、全国の平均正答率を大きく上回っており、定着がうかがえます。
- ・「図形」の区分では、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

(3) 理科について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・すべての評価の観点において、全国の平均正答率を上回っていました。また、全ての領域においても全国の平均正答率を上回っていました。

- ・特に「生物の観察」や「気圧」の問題については、全国の平均正答率を大きく上回っており、定着がうかがえます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「朝食」については、本校は89.5%の生徒が毎日食べていると回答しており、全国平均を10.8ポイント上回っていました。
- ・「先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」については、本校は39.5%の生徒が当てはまると回答しており、全国平均を7.6ポイント上回っていました。
- ・「学校に行くのが楽しい」については、本校は55.3%の生徒が当てはまると回答しており、全国平均を9.7ポイント上回っていました。
- ・「読書が好き」については、本校は42.1%の生徒が当てはまると回答しており、全国平均を11.8ポイント上回っていました。
- ・「自然体験や自然観察」については、本校は55.3%の生徒がよくしていたと回答しており、全国平均を9.7ポイント上回っていました。
- ・「ICT機器を使ってプレゼンテーションを作成することができる」については、本校は47.4%の生徒が当てはまると回答しており、全国平均を15.6ポイント上回っていました。
- ・「平日の1日当たりの勉強時間」については、2時間以上行っている本校生徒の割合が15.8%となり、全国平均より15ポイント低い結果となり課題が見られました。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・各教科において、グループ活動を積極的に取り入れ、生徒の主体的・対話的な学習を促すとともに、授業の活性化を図ります。
- ・今回の調査で課題となった国語の「言葉の特徴や使い方」「根拠を明確にして書くこと」、数学の「思考・判断・表現」「図形」については、基本的な内容を復習しながら学習を進め、自分の考えを話したり書いたりする学習を日々の授業で取り扱うなどの授業改善を行います。また、さらなる分析を行った上で、集中的に取り扱っていきます。
- ・生徒のICT機器の活用能力（文章を作成すること、情報収集すること、グラフなどにまとめること、プレゼンテーションを作成すること）については、全国平均を大きく上回っているため、日常の授業の中でタブレット端末の活用場を増やしていきます。
- ・1時間の授業の流れをできる限り統一したり、電子黒板を活用して内容を視覚的に捉えさせたりし、授業のユニバーサルデザイン化に取り組みます。
- ・生徒と家庭学習習慣の目的を再度確認し、各家庭に協力を求めるとともに、家庭学習につながるような授業内容の改善や課題の工夫などに取り組みます。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

- ◎学習する時間や時間帯を自分で計画し実行していくことで、学習習慣を身に付けさせ家庭学習時間を増やしていきましょう。
- ◎スマートフォンやタブレットの使用時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎今まで行ったテスト問題の復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎「朝食」や「起床時間」などの基本的な生活習慣は身に付いている生徒が多く見られますので、これを継続していきましょう。
- ◎自分で考え自分から行動できるように、お子さんの自主性を尊重していきましょう。
- ◎学校での出来事や部活動のこと、読んでいる本の内容などについて話し合いきましょう。